

# 講座内容

## 1.『見る』ことと『見える』こと ～視覚の不思議を解き明かす～

生命情報工学科 准教授 **小濱 剛**

私達ヒトを含む霊長類の極めて高度な視覚機能を持つ動物です。霊長類の脳皮質は大部分が視覚に関与しており、眼という高性能なカメラから必要な情報を入手しています。眼が脳の出先機関であるが故に、脳が生み出す心の変動が眼に表われ、時には言葉以上のリアリティを帯びて相手に伝搬されるのです。まさに「眼は口ほどにものを言う」です。ところが、私達は眼に映った映像をそのまま知覚しているわけではありません。『見る』べき対象についての経験や周囲の状況によって見え方が異なることがあります。『見える』という感覚は、絶え間なく眼から送り込まれる映像に対し、今、何をすべきかという行動計画に基づいて下された脳の状況判断の結果なのです。本講座では、眼がとらえたイメージから視覚が形成される過程で生じる不思議な現象を体験していただき、その仕組みについて解説するとともに、脳機能のシミュレーションやAIなどの最新の情報技術についても紹介します。

## 2.色とは何か ～色の本質と応用について～

人間環境デザイン工学科 准教授 **片山 一郎**

私たちは、自分が見ている色が他の人が見ている色と同じかどうかを気にすることなく、生活しています。なぜなら、物にはそれぞれ固有の色があり、同じ物なら誰が見ても同じ色であると思っているからです。ということは、人間以外の生き物も、同じ色の世界で生きていることになります。ところで、皆さんの中には、犬や猫は人間とは違う色を見ている、といったことを聞かれた方もいらっしゃるでしょう。これは本当なのでしょうか。犬や猫は人間とは違うから違う色を見ていてもおかしくないと考え、同じ物なら誰が見ても同じ色ということが怪しくなってきます。そもそも色とは何なのでしょう。本講座では、色の本質と応用について、わかりやすく解説します。「色とは何か」を考えることで、普段何気なく見ている世界も違って感じられるかもしれません。

近畿大学 生物理工学部 公開講座係

〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷930  
TEL.(0736)77-3888 FAX.(0736)77-6336  
E-mail:bost-kou@waka.kindai.ac.jp

今年度の公開講座は

本講座をもちまして終了いたします。

たくさんのご来場ありがとうございました。

来年度もよろしく願いいたします。



【 同時開催 】

分野を超えた研究・教育が新たな学問フィールドを創造。  
21世紀を担うテクノロジーは、ここから生まれる。

**Program**

- マンモス研究の実験室特別公開!
- 体験実習
- BOST Language Space 活動体験
- キャンパスゴーラウンド
- 入試に役立つ講演会
- 研究実験室公開
- 進学相談コーナー
- 図書館使いたい放題
- 模擬講義(各学科)
- 近畿大学入試概要説明

参加無料

2019.9/1(日)オープンキャンパス開催!

マンモス研究の実験室特別公開!!